

2025年度（2026年3月期）

第3四半期 決算説明会

代表取締役 専務執行役員
清水 郁輔

2026年1月29日

2025年度第3四半期実績および通期見通し

為替レート	2024年度			2025年度				
	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期	4Q計画 (10月)	下期計画 (10月)
前提	-	-	-	¥148/US\$ ¥172/€	¥156/US\$ ¥183/€	¥155/US\$ ¥181/€	¥148/US\$ ¥172/€	¥148/US\$ ¥172/€
実績 *期中平均	¥152/US\$ ¥163/€	¥153/US\$ ¥162/€	¥152/US\$ ¥162/€	¥154/US\$ ¥179/€	-	-		

※輸出は社内前提レート適用。為替感応度は社内前提レートで対USドル1円（円安）あたり営業利益+約5億円／年

- 増収。3Q売上高は過去最高値を更新
- 3Q営業利益、経常利益ともに減益も、概ね計画（10月）通り
- バイオリファイナリー事業における実証実験の完了にともない、久慈プラントを撤収、清算。減損損失149億円の影響大きく、最終利益は減益
- 自己株式購入（624万株／160億円）ならびに消却（1,000万株）を実施

★：過去最高値

(億円)	2024年度 3Q実績 (10-12月)	2025年度 3Q実績 (10-12月)	増減	2024年度 1Q-3Q実績 (4-12月)	2025年度 1Q-3Q実績 (4-12月)	増減
	2024年度 3Q実績 (10-12月)	2025年度 3Q実績 (10-12月)			2025年度 3Q実績 (10-12月)	
売上高	3,263	★ 3,301	+38	9,553	★ 9,599	+46
営業利益	286	275	▲12	774	729	▲45
経常利益	380	318	▲62	861	807	▲54
親会社株主に帰属する 四半期純利益	256	162	▲94	685	478	▲207

- 高機能Pならびに住宅が増収増益。3Q全社営業利益は概ね計画（10月）通りの着地
- 「その他」内訳：PV *▲12億円、LB *▲1億円、BR *▲5億円、R&D他▲18億円

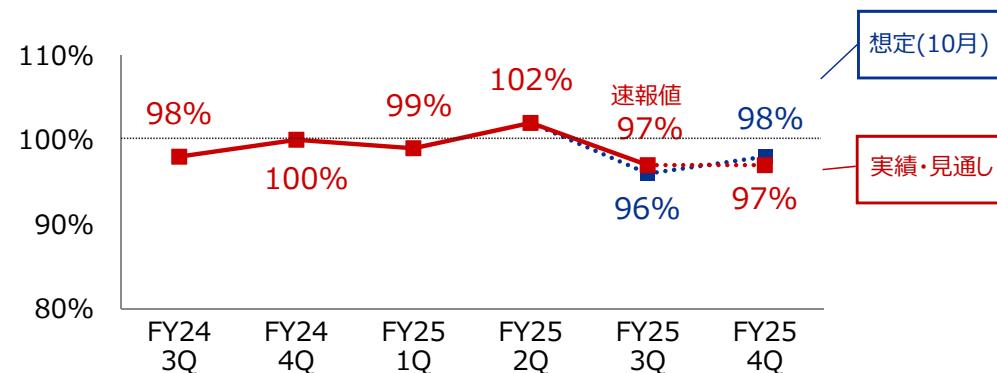
(億円)	2024年度 3Q実績 (10-12月)		2025年度 3Q実績 (10-12月)		増減		2024年度 1Q-3Q実績 (4-12月)		2025年度 1Q-3Q実績 (4-12月)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	高機能P	1,120	156	★ 1,142	★ 157	+22	+1	3,331	455	★ 3,378	440	+47
住宅	1,320	87	★ 1,364	★ 98	+44	+11	3,857	233	★ 3,951	261	+94	+28
環境LL	608	66	605	61	▲3	▲5	1,743	150	1,726	141	▲17	▲9
メディカル	251	33	238	28	▲14	▲5	730	93	680	73	▲50	▲20
その他	16	▲29	14	▲35	▲2	▲6	51	▲88	54	▲98	+4	▲9
消去又は全社	▲53	▲26	▲63	▲33	▲10	▲7	▲158	▲68	▲190	▲89	▲32	▲20
合計	3,263	286	★ 3,301	275	+38	▲12	9,553	774	★ 9,599	729	+46	▲45

*高機能P=高機能プラスチックスカンパニー *住宅=住宅カンパニー *環境LL=環境・ライフラインカンパニー

*PV=ペロブスカイト太陽電池プロジェクト *LB=定置型リチウムイオン電池事業 *BR=バイオリファイナリー事業

グローバル自動車生産台数 (前年同期比)

3Qは想定（10月）をわずかに上回るも、前年を下回って推移。4Qも同様の水準で推移する見通し



住宅・集客 (前年同期比)

※[]内は想定（10月）

展示場来店は大きく減少。集客全体も前年を下回って推移。4Q以降も金利上昇、物価高等による消費マインド低下により低調に推移する見通し

	FY25 上期	FY25 3Q	FY25 4Q	FY25 下期
集客全体	97%	98%	95%	97% [95%]
資料請求 (WEB等)	92%	101%	99%	100% [95%]
展示場 来店	81%	81%	84%	83% [86%]

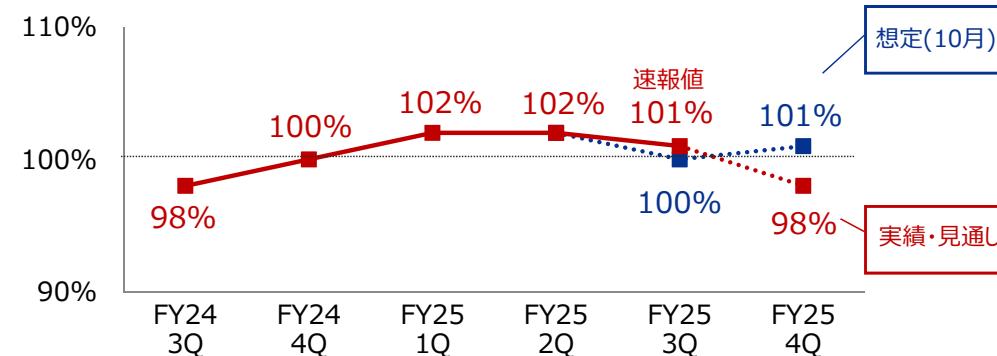
新設住宅着工

※[]内は想定（10月）

24年度の建築基準法改正に伴う駆け込み需要の反動減が下期も継続する見通し
※環境LL各製品の需要発現：住宅着工後4～6ヶ月

スマホ出荷台数 (前年同期比)

3Qは想定（10月）および前年をわずかに上回って推移。4Qは減速を見込む



国産ナフサ価格

3Qは想定（10月）通りに推移。4Qも同様に推移する見通し



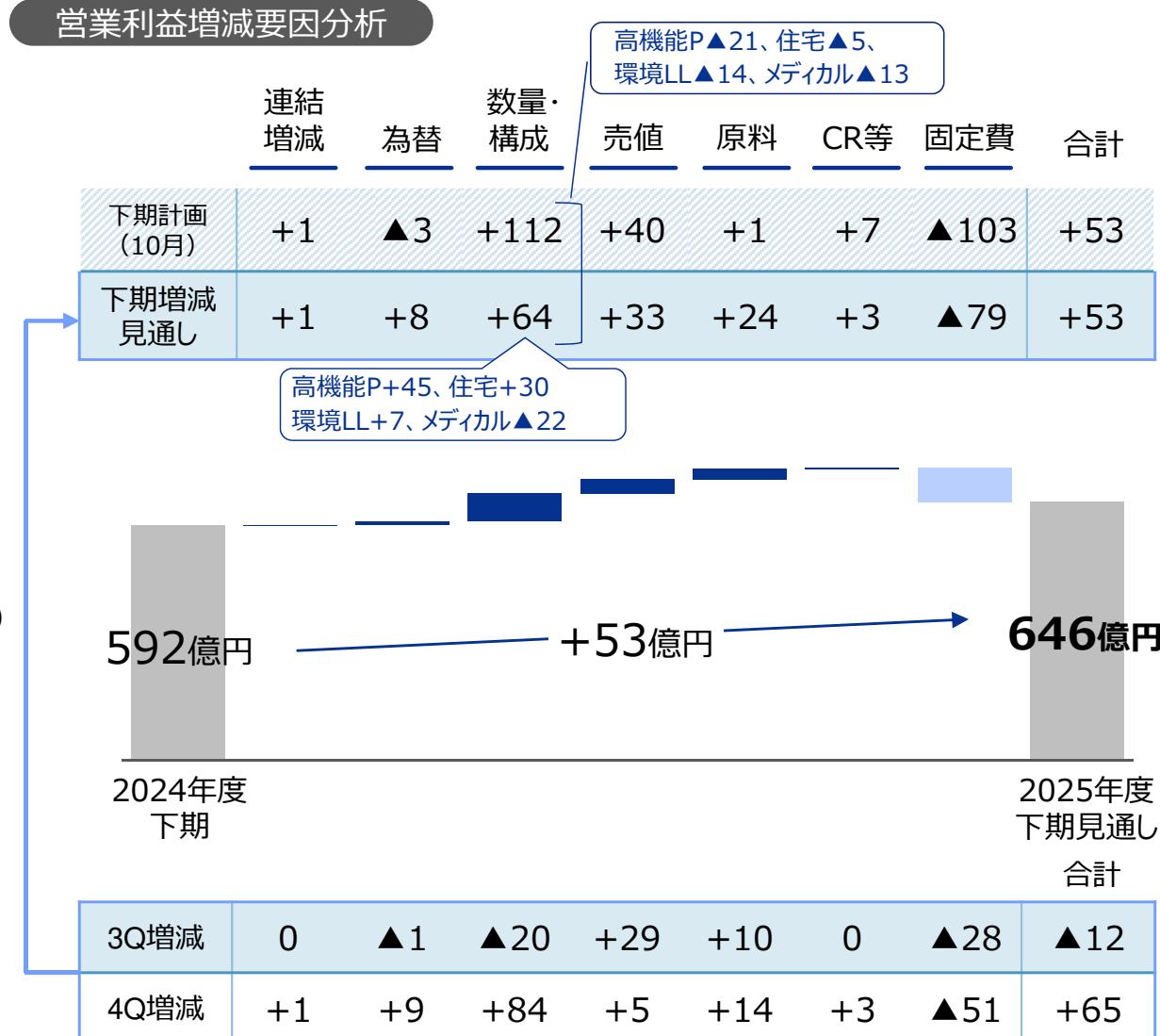
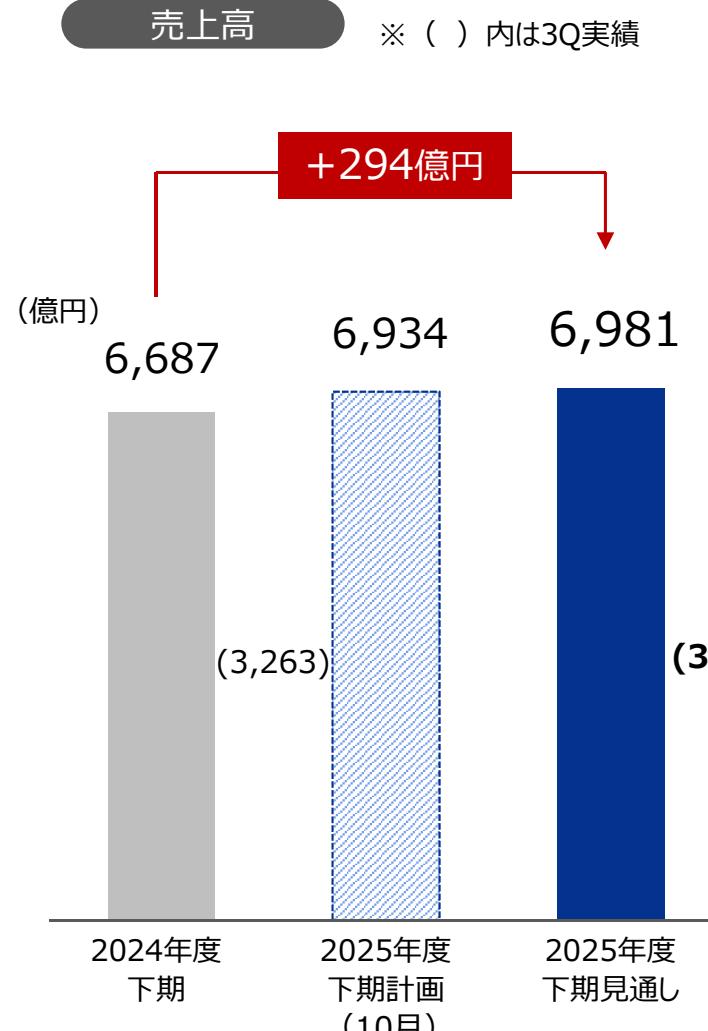
- メディカルを除く3セグメント、ならびに全社で増収。全セグメントで増益を見込む
- 「その他」内訳：PV ▲24億円、LB ▲2億円、BR ▲11億円、R&D他 ▲33億円

(億円)	2024年度 下期実績		2025年度 下期見通し		増減		2025年度 下期計画 (10月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	2,262	314	★ 2,441	★ 334	+178	+21	2,404	334	+37	0
住 宅	2,704	169	★ 2,808	207	+104	+38	2,738	207	+70	0
環境LL	1,271	145	★ 1,305	★ 159	+35	+15	1,351	167	▲46	▲8
メディカル	513	68	502	69	▲11	+1	503	69	▲1	0
その他	41	▲57	43	▲71	+2	▲14	45	▲76	▲2	+5
消去又は全社	▲103	▲47	▲118	▲54	▲15	▲7	▲107	▲57	▲11	+3
合計	6,687	592	★ 6,981	646	+294	+53	6,934	646	+47	0

- 4Qは4セグメントならびに全社で増収増益を見込む
- 3Qに引き続き、4Qも概ね計画（10月）通りの見通し

(億円)	2024年度 3Q実績		2025年度 3Q実績		増減		2024年度 4Q実績		2025年度 4Q見通し		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,120	156	★ 1,142	★ 157	+22	+1	1,142	158	★ 1,298	★ 178	+156	+20
住 宅	1,320	87	★ 1,364	★ 98	+44	+11	1,384	82	1,443	109	+60	+27
環境LL	608	66	605	61	▲3	▲5	662	79	700	★ 99	+38	+19
メディカル	251	33	238	28	▲14	▲5	262	35	★ 265	★ 41	+3	+6
その他	16	▲29	14	▲35	▲2	▲6	25	▲27	29	▲35	+4	▲8
消去又は全社	▲53	▲26	▲63	▲33	▲10	▲7	▲51	▲21	▲55	▲20	▲4	+1
合計	3,263	286	★ 3,301	275	+38	▲12	3,424	306	★ 3,680	★ 371	+256	+65

■ 国内外の市況低迷継続の影響大きく、「数量・構成」は計画（10月）を下回るも、「原料」良化や「為替」差益影響も寄与し、計画（10月）通り增收、増益の見通し



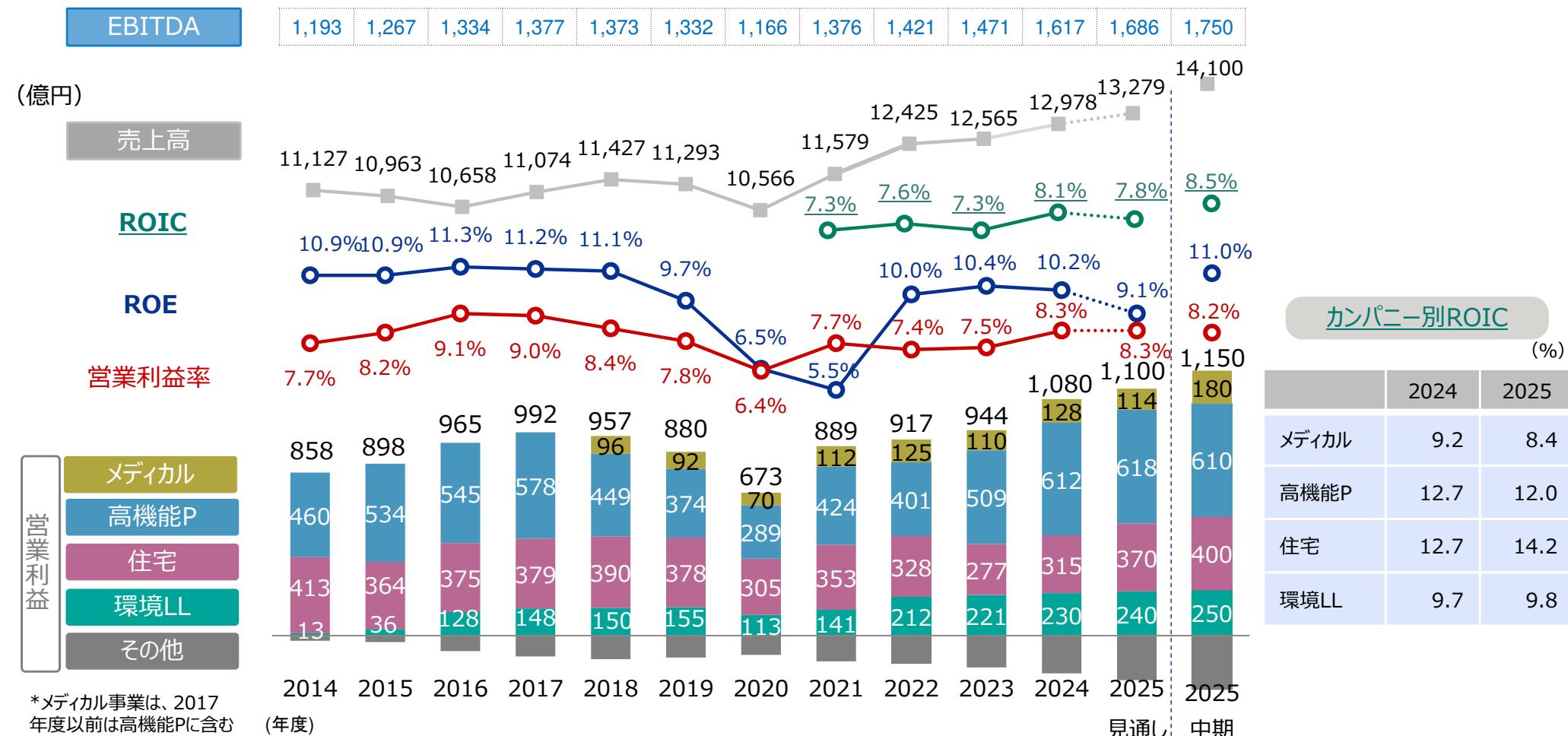
- メディカルを除く3セグメント、ならびに全社で増収増益の見通し
- 「その他」内訳：PV ▲43億円、LB ▲6億円、BR ▲21億円、R&D他 ▲63億円

(億円)	2024年度 実績		2025年度 見通し		増減		2025年度 計画(10月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	4,474	612	★ 4,676	★ 618	+202	+6	4,639	618	+37	0
住 宅	5,240	315	★ 5,394	370	+154	+55	5,324	370	+70	0
環境LL	2,405	230	★ 2,426	★ 240	+21	+10	2,472	248	▲46	▲8
メディカル	992	128	945	114	▲47	▲14	946	114	▲1	0
その他	76	▲116	83	▲133	+7	▲17	85	▲138	▲2	+5
消去又は全社	▲208	▲89	▲245	▲109	▲37	▲20	▲234	▲112	▲11	+3
合計	12,978	1,080	★13,279	★ 1,100	+301	+20	13,232	1,100	+47	0

- 増収。営業利益、経常利益ともに増益、過去最高値更新の見通し
- 最終利益は計画（10月）通りの着地を見込む
- 配当は計画（10月）通り、1株あたり1円増配となる80円を計画。16期連続増配へ（期末配当は1株あたり40円）

(億円)	2024年度 実績	2025年度 見通し	増減	2025年度 計画 (10月)	差異
売上高	12,978	★ 13,279	+301	13,232	+47
営業利益	1,080	★ 1,100	+20	1,100	0
経常利益	1,110	★ 1,120	+10	1,120	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	819	720	▲99	720	0
配当 (円/株)	79	★ 80	+1	80	0

外部環境が変化していく中でも着実に成長。次中期ならびに長期ビジョンへ向けた仕込みが進捗



外部環境

2014年4月

消費増税
<5%→8%>

2018年3月

世界貿易
摩擦台頭

2019年10月

消費増税
<8%→10%>

2020年2月～

COVID-19
感染拡大

2022年2月～

ロシアによる
ウクライナ侵攻

2025年上期

米国
関税措置発動

為替レート

/US\$ (期中平均)

FY2014

FY2015

FY2016

FY2017

FY2018

FY2019

FY2020

FY2021

FY2022

FY2023

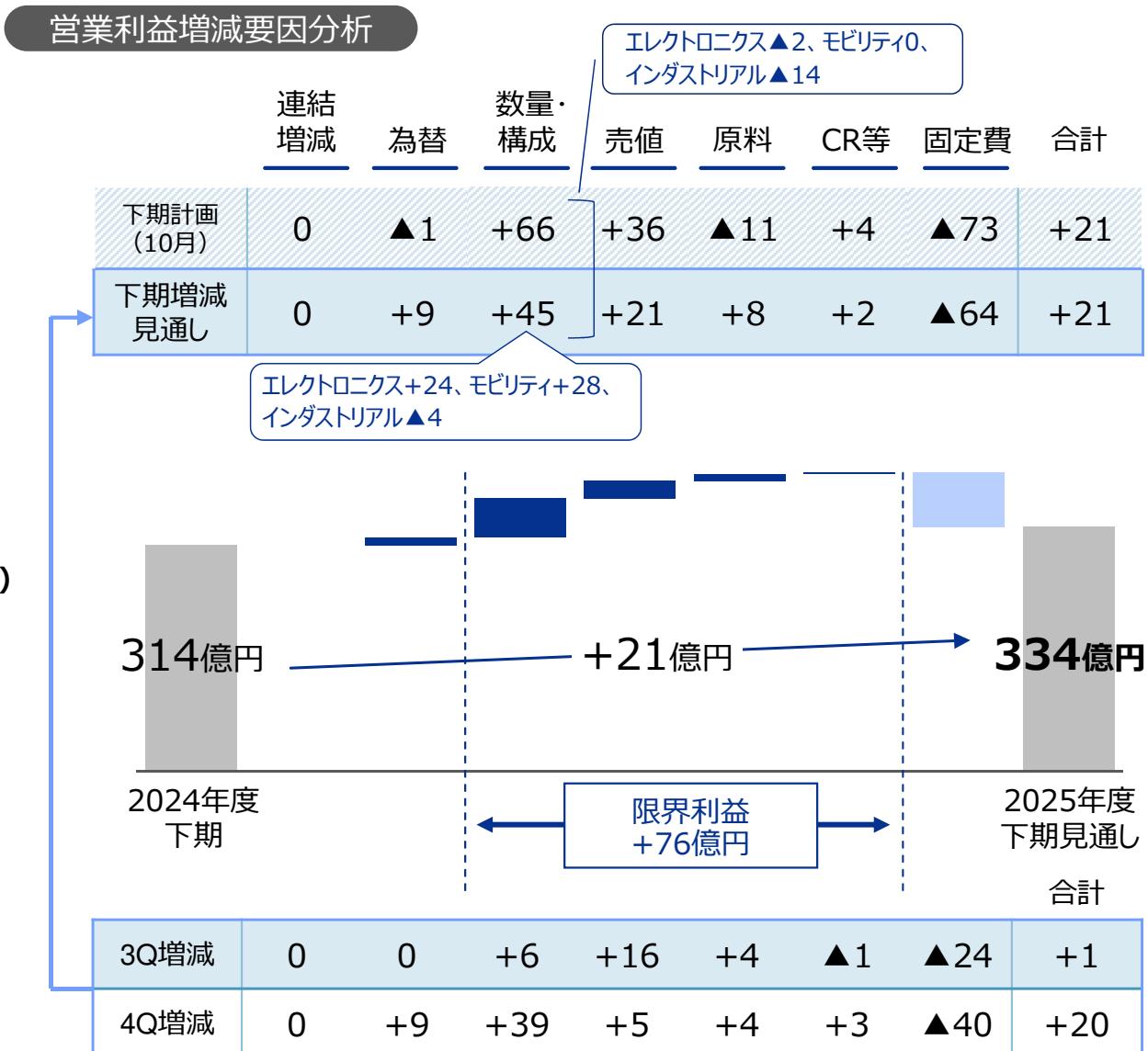
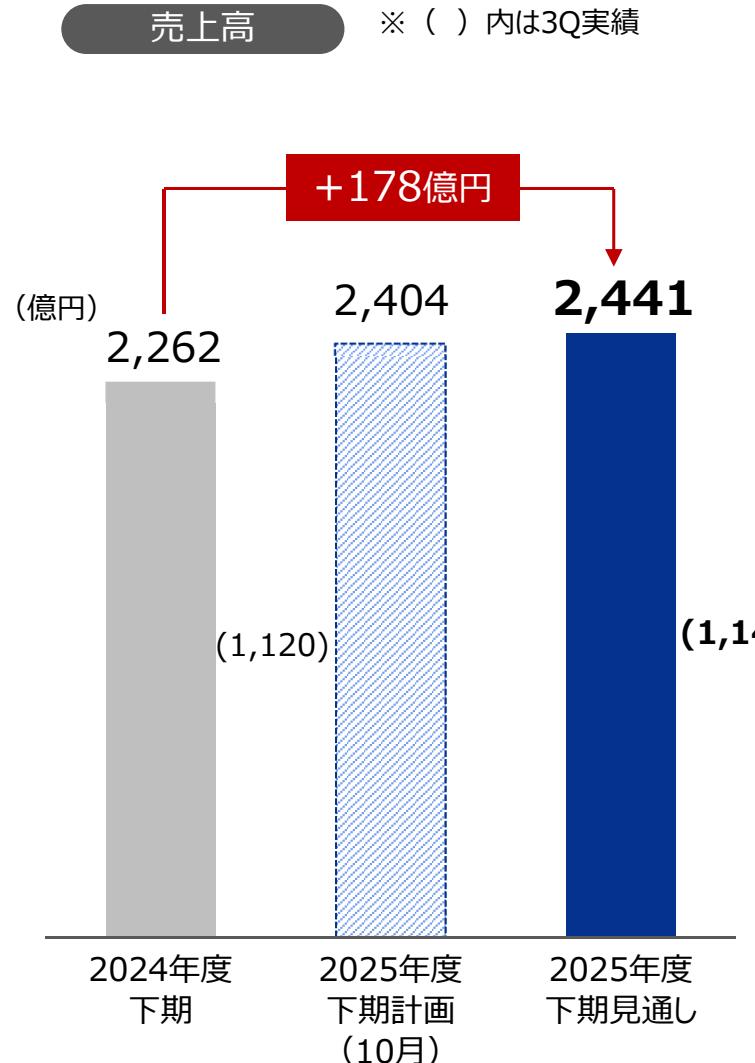
FY2024

FY2025

FY2025
中期

*2025年度は想定。
中期計画は23年5月時点

■ 「数量・構成」はエレクトロニクス分野を中心に計画（10月）を下回るも、前年対比では伸長。
「原料」良化や「固定費」抑制、「為替」差益影響が寄与し、計画（10月）通り増収、増益の見通し



戦略3分野の売上高推移と重要指標

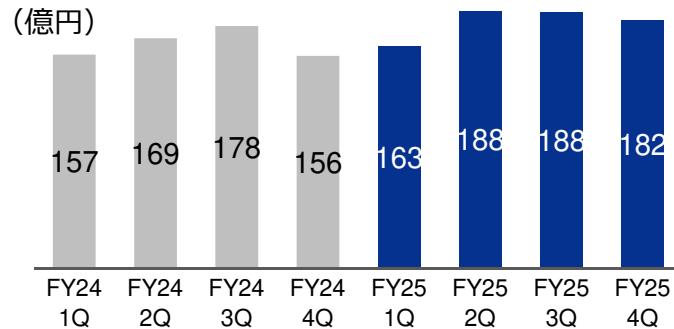
成長牽引事業

中期経営計画Drive 2.0
における現有PF強化として
明確化した11事業を表示

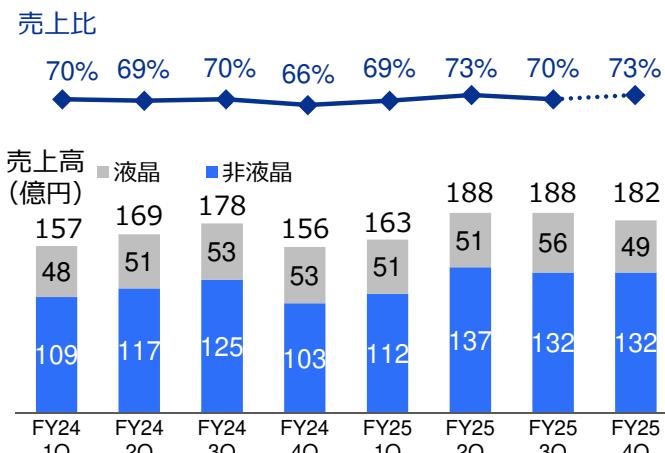
成長期待事業

エレクトロニクス

- 3Q：スマホ市況、パネル需要とも順調。計画（10月）通り進捗
- 4Q：中華系スマホ市況の鈍化はあるも、堅調な非液晶分野によりカバー

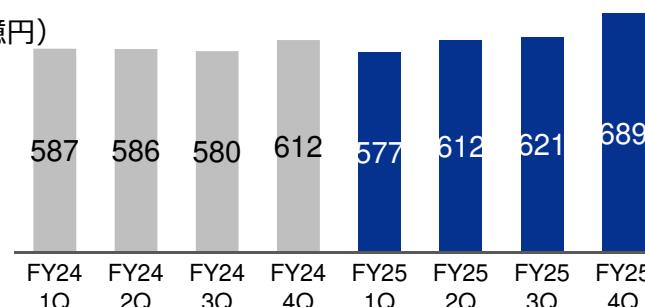


【非液晶分野注力】

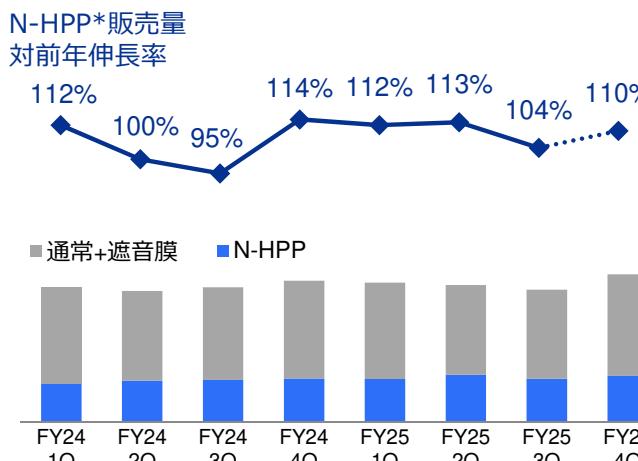


モビリティ

- EV市場の一部停滞によりデザイン中間膜は引き続き低調も、HUD膜を中心とするN-HPPは伸長継続（HUD向け下期120%超*販売量ベース）
- Aerospace社：顧客の生産レートの堅調な推移により収益貢献。航空機以外用途の新規獲得も順調

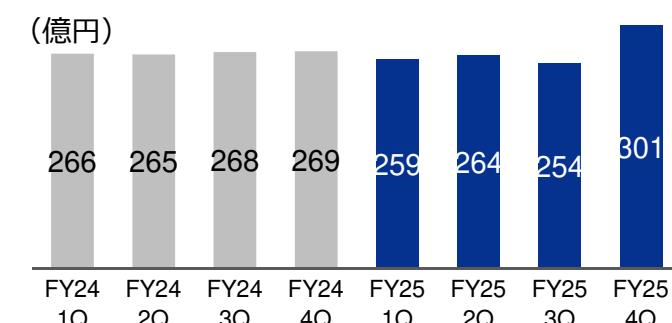


【N-HPP拡販】

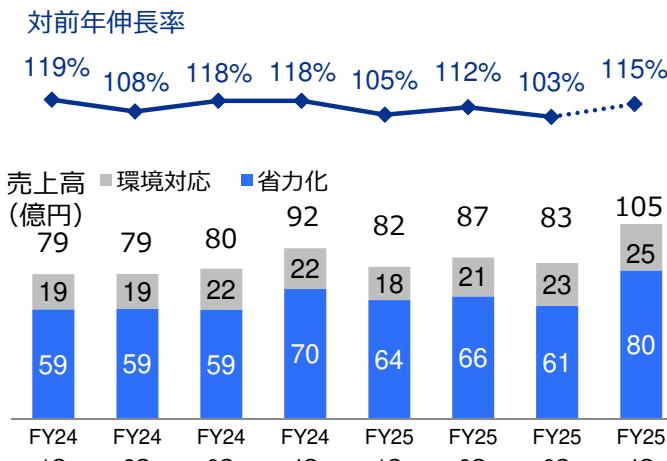


インダストリアル

- 欧米を中心とする消費財・建築需要の低調は継続も、センサー、ケアマテリアルなどを含む新規獲得が着実に進捗
- 引き続き「省力化・環境対応製品」の拡販に注力

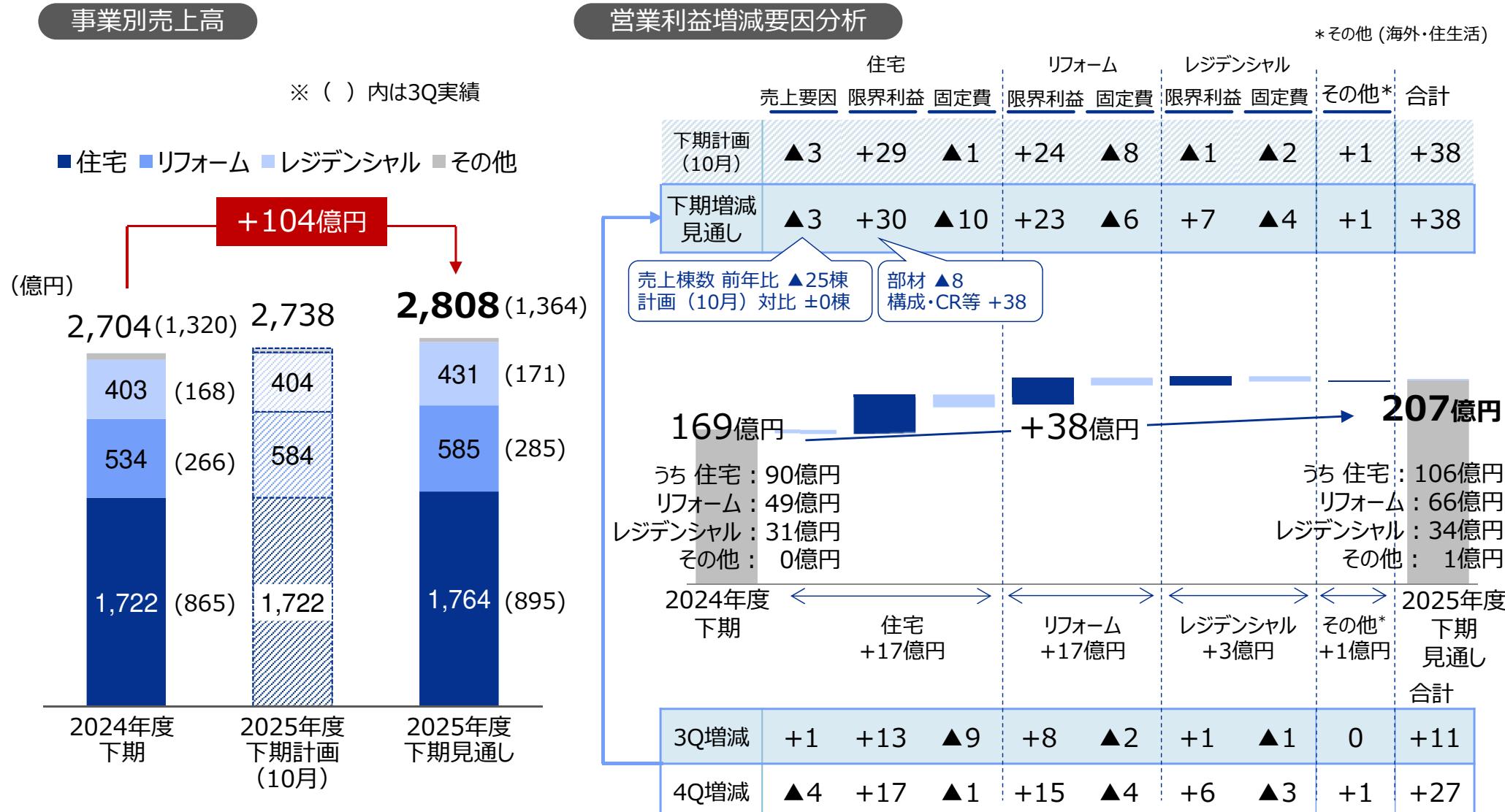


【省力化・環境対応製品拡販】



■ カンパニー全体で増収、大幅増益。計画（10月）達成の見通し

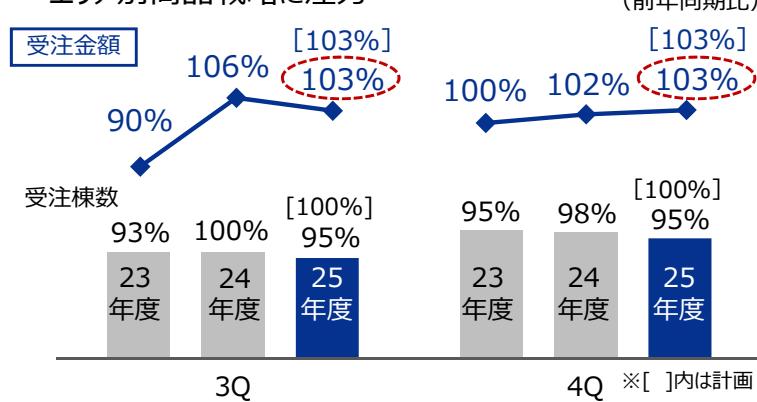
- ・住宅：市況低迷継続も、構成良化による棟単価UPにより増収増益。売上の平準化が進捗
- ・リフォーム：営業力強化と定期診断充実化により受注拡大し増収増益



住宅事業

新築受注

- 都市部の高価格帯戸建と集合受注拡大により受注金額は計画（10月）通り進捗
- 市況低迷長期化により受注棟数を下方修正。エリア別商品戦略に注力



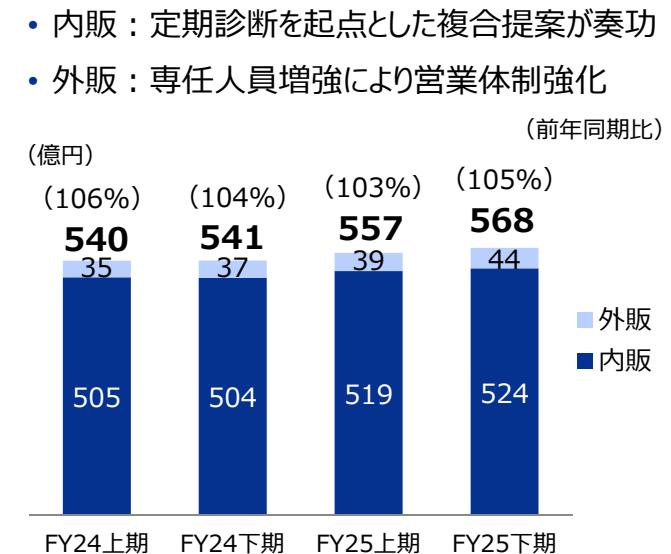
〈建築種別受注金額・棟数〉 (前年同期比)

戸建	請負	棟数	92%	90%	92%	91% [98%]
	建売	棟数	95%	91%	94%	92% [103%]
集合	金額	94%	94%	96%	95%	95% [100%]
	棟数	93%	90%	92%	91%	91% [99%]
25上期	金額	129%	154%	135%	143%	143% [122%]
	棟数	113%	140%	123%	130%	130% [115%]
期末受注残*	総額	1,600		1,600		
	前年差	+65		0		

*リフォーム除く住宅のみ (億円)

リフォーム事業

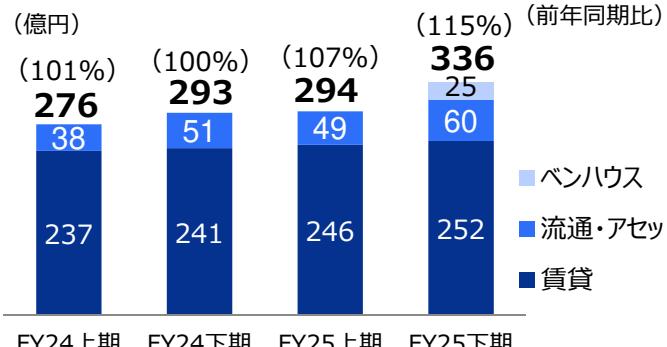
リフォーム受注金額



レジデンシャル事業

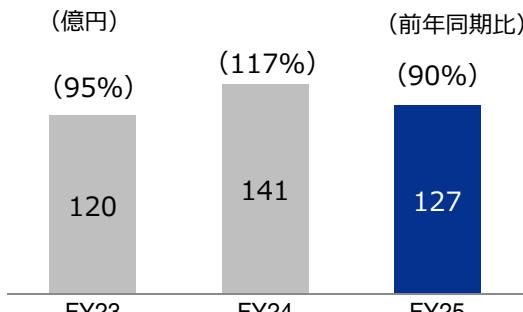
不動産事業売上高

- 賃貸: 管理戸数増大により着実に成長
- 流通・アセット: 買取再販好調。アセット投資拡大
- ベンハウス新規連結化による効果発現 (4Q~)



まちづくり事業売上高

- 販売中在庫の着実な売上
- 更なる仕入れルートの拡充

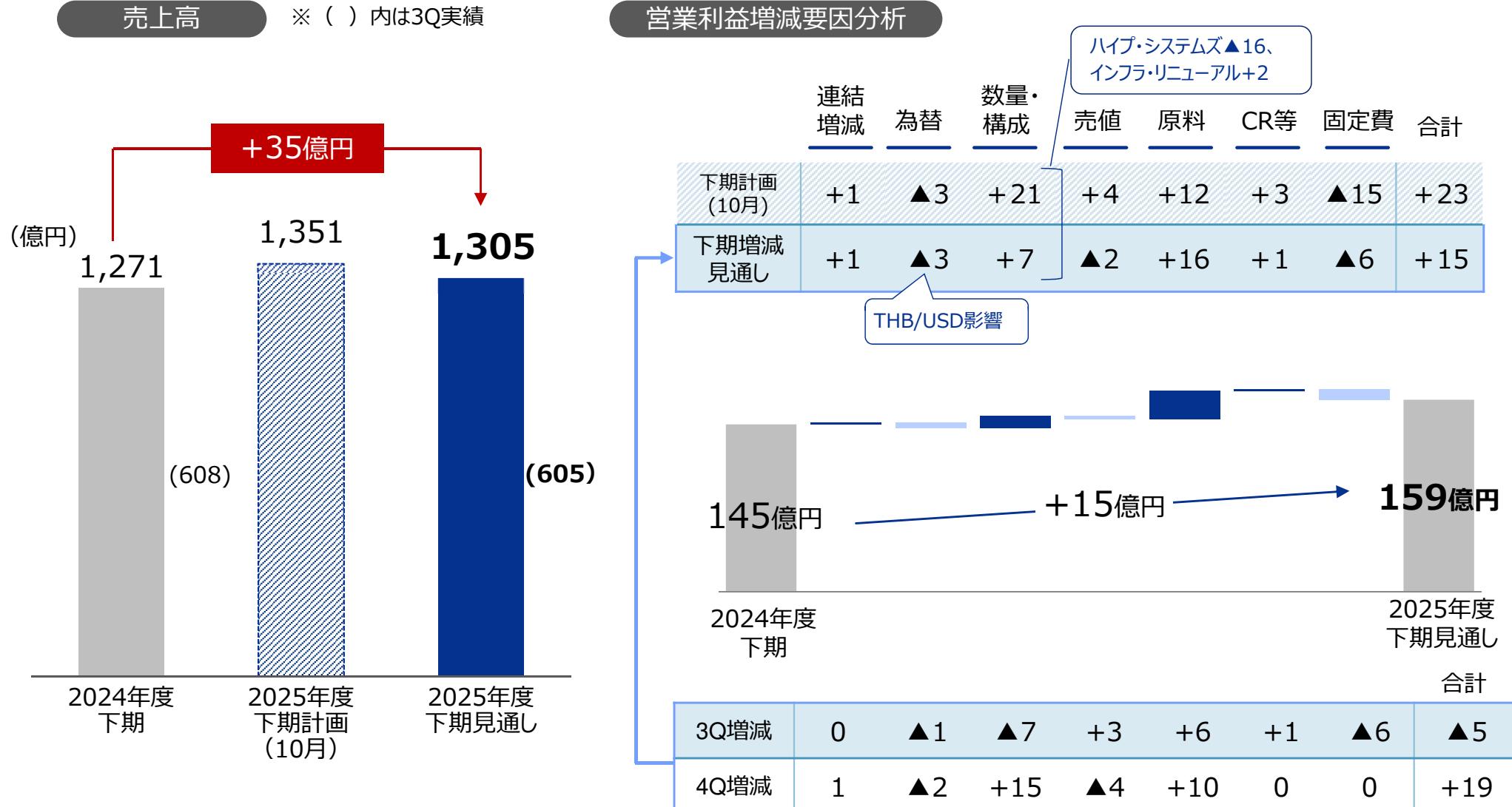


主なM&A・投資

- 更なる成長に向け、成長領域への投資強化

領域	会社名	狙い
住宅	アーキテック プランニング	北海道エリアでの木造戸建住宅の事業展開開始
リフォーム	クレアスト	北海道エリアでの外販リフォームおよび買取再販強化
レジデンシャル	ベンハウス	不動産流通・アセット事業拡大および土地仕入れ強化
海外	SCMS*	北米市場での事業展開に向けモジュラー製造の新会社設立

- 住宅市況の低調継続、および非住宅も建築工期の長期化により、「数量・構成」の伸長鈍化
- インド市況低迷の影響継続も、住・インフラ複合材およびインフラ・リニューアル分野でオフセット。営業利益は計画（10月）を下回るも、カンパニー全体で増益の見通し

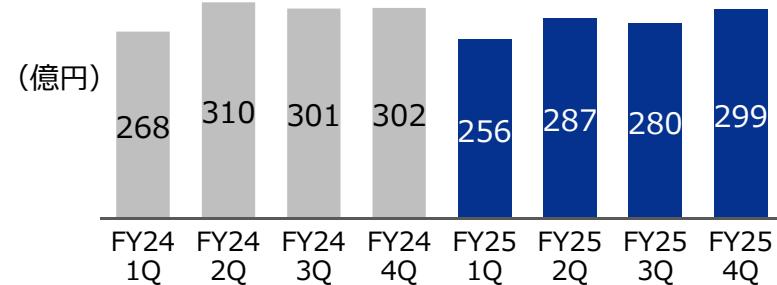


戦略3分野の売上高推移と重要指標

パイプ・システムズ

建築・ プラント配管材

- 管材群：人手不足による建築現場の工期長期化の定常化により
売上減。設備投資によるプラント管材需要は想定を下回る
- CPVC：インド市況低迷継続し価格下落。他地域含め拡販に注力

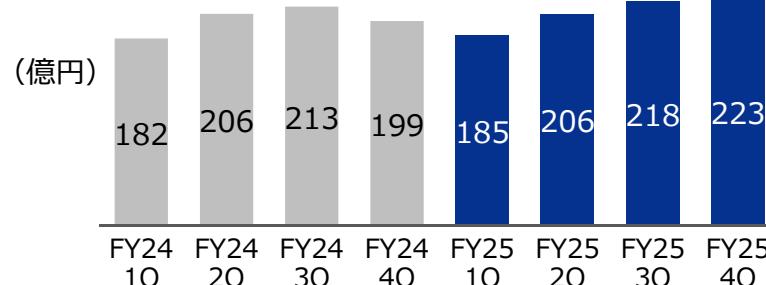


住・インフラ複合材

耐火・ 不燃材料

機能材 (鉄道枕木等)

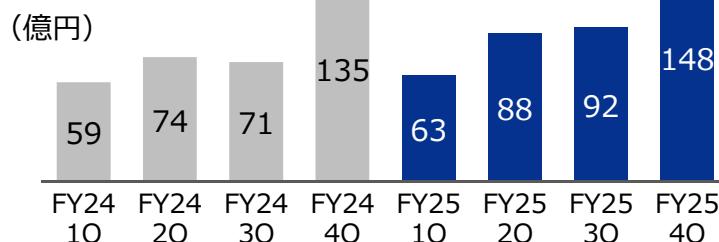
- 耐火・不燃材料：新規採用、新製品の拡販に注力
- FFU（枕木用途）：堅調に推移。欧州での採用拡大



インフラ・リニューアル

管路更生

- アクアシステム：工場設備大型物件が順調に進捗
- 管路更生
国内：全国特別重点調査等からの大口径物件増加
海外：北米エリアを中心に順調に受注拡大



【重点拡大製品売上高(国内)】

- 耐火群、耐火PE管等が堅調

国内売上高に
占める比率

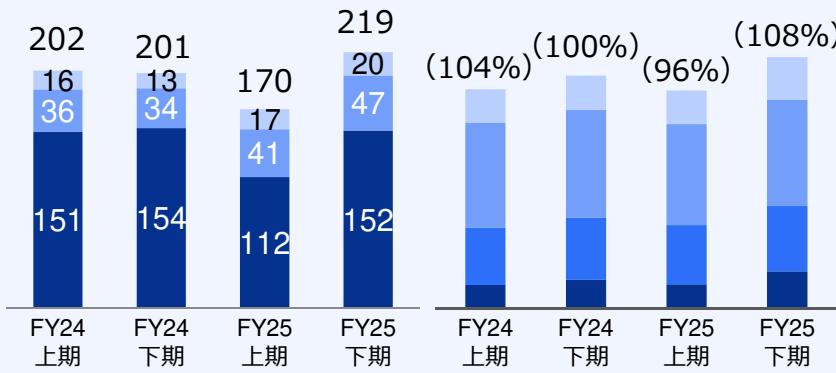
24% 25% 27% 28%



【海外地域別売上高】

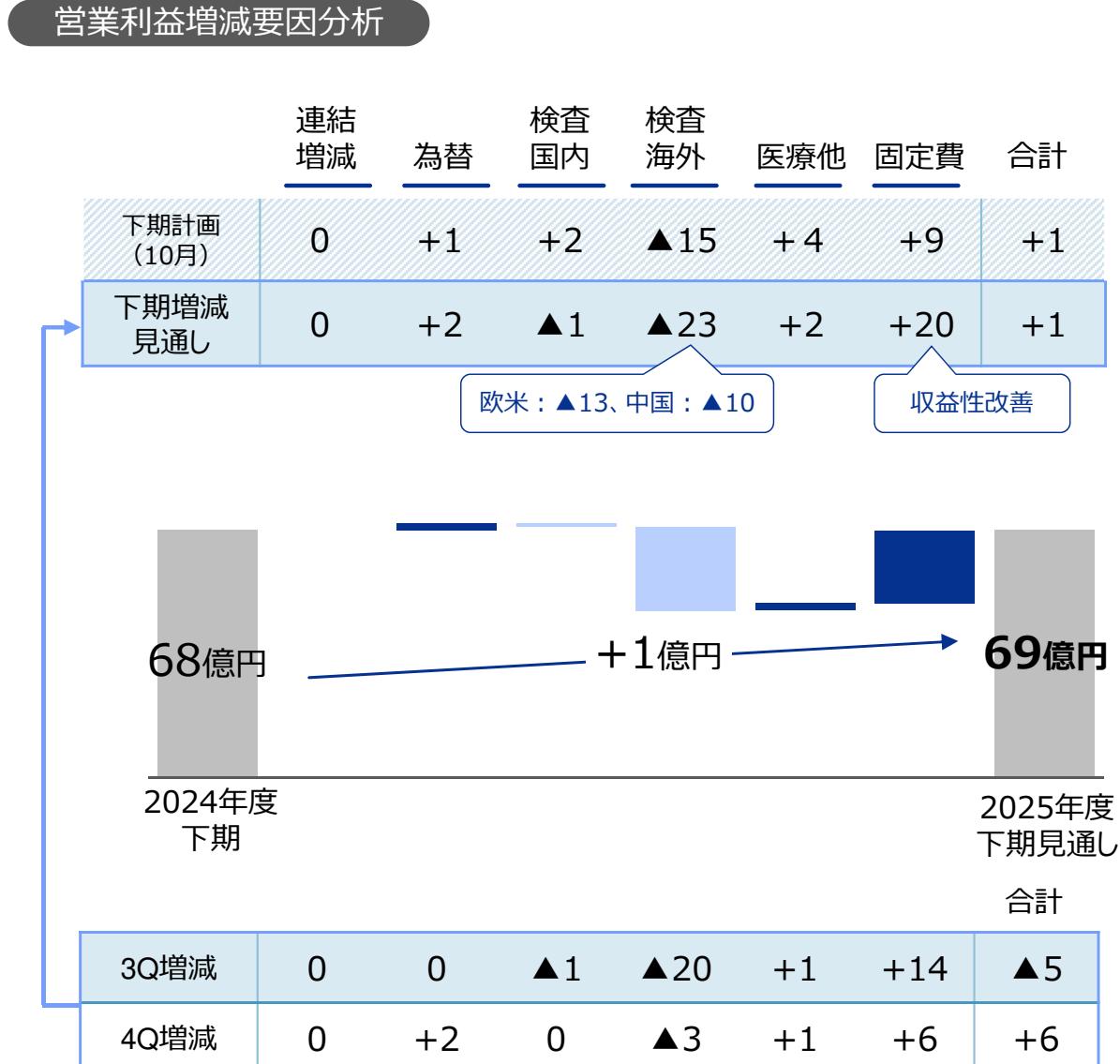
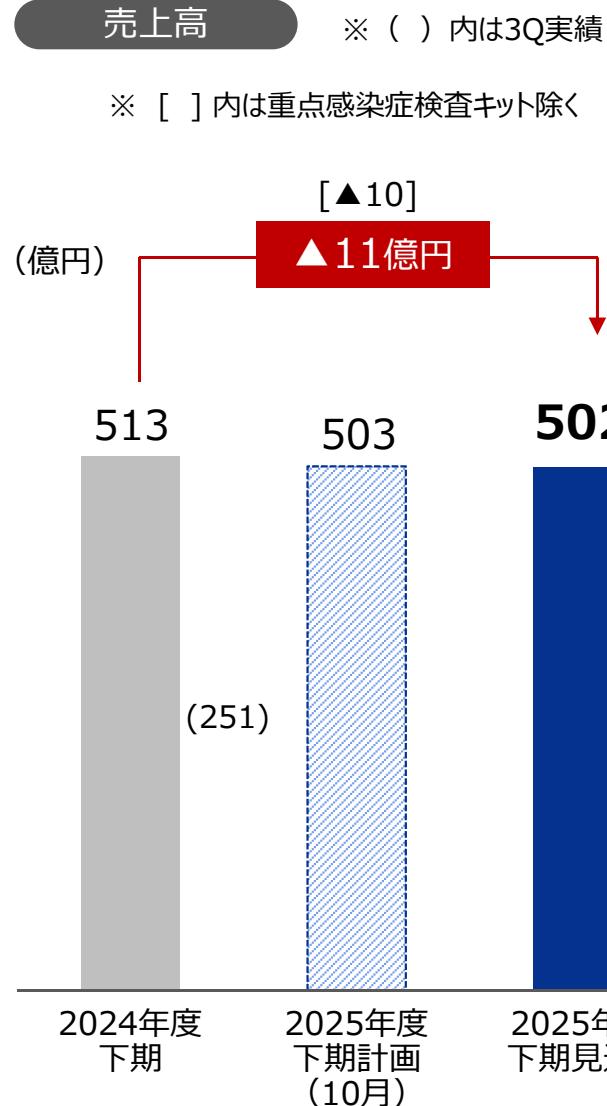
- CPVC（印）苦戦
- 管路更生（北米）、
FFU（欧州）伸長

■アジア他 ■欧州 ■北米



*国内製品輸出含む

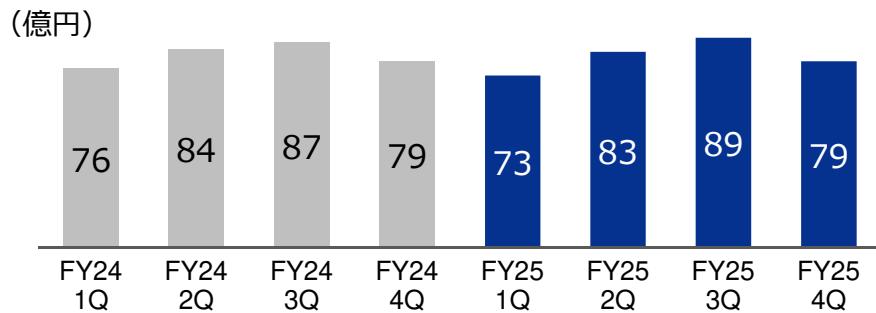
- 検査海外の厳しい状況は継続し、計画（10月）を下回るも「固定費」抑制によってカバー
- 全体では計画（10月）通り増益の見通し



事業別の売上高推移と重要指標

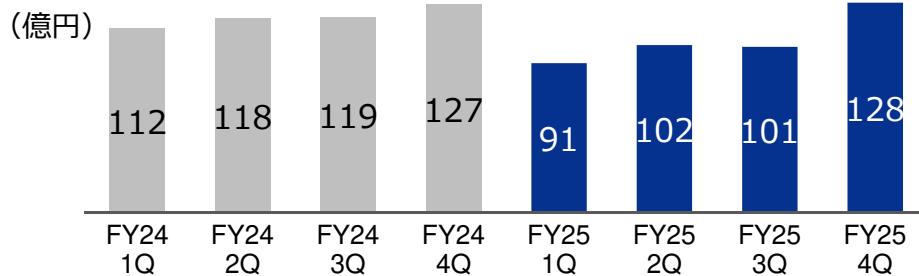
検査国内

- 3Q：感染症の早期流行により見通し(10月)を上回り着地
- 4Q：免疫を中心に検査需要の取り込みを継続



検査海外

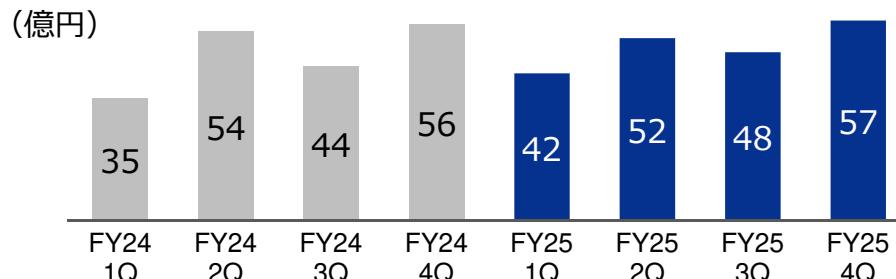
- 3Q：米国の感染症流行遅れに加え、中国の医療費抑制影響拡大
- 4Q：米国感染症検査需要取り込みに注力、中国は市況低迷継続を見込む



医療（医薬・創薬支援・酵素）

医療(CDMO)

- 3Q：医薬、創薬支援事業は計画通り着実に進捗
- 4Q：既受注案件の確実な出荷

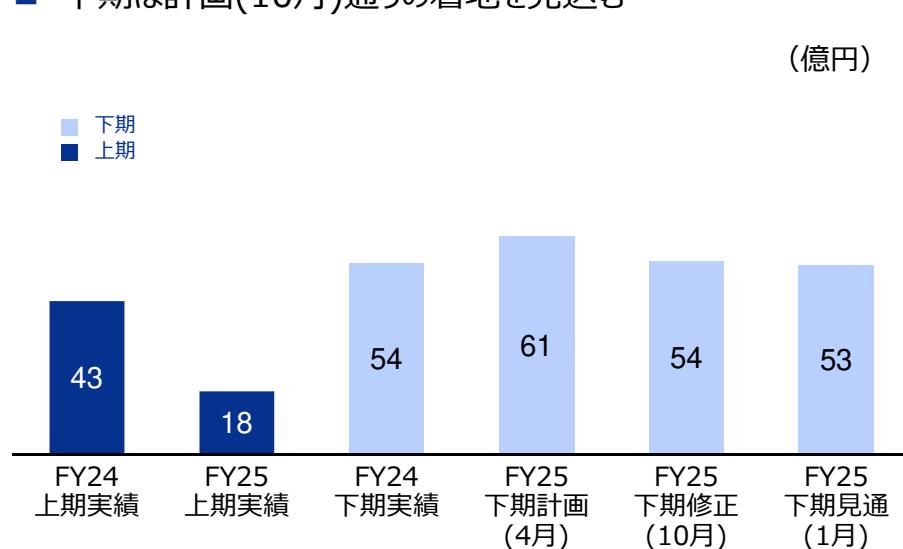


重点感染症検査キット売上高推移

- 下期は計画(10月)通りの着地を見込む

(億円)

■ 下期
■ 上期



2025年度第3四半期 決算内容

連結対象会社数

	2025年3月末	2025年12月末	増減
連結会社	145社	142社	増加 2社 ^{*1} 減少 5社 ^{*2}
持分法会社	6社	6社	増加 0社 減少 0社

*1 (株)クレアスト、Sekisui Plant (Thailand) Co., Ltd

*2 (株)ヘルシーサービス、PT Asia HD Limited、セキスイオアシス（株）、AIM Aerospace Auburn, Inc.、AIM Aerospace Atlanta, Inc.

連結会社増減等による影響等

	2025年度1-3Q (前年比)	増減
売上高	▲9億円	積水ソーラーフィルム（株）*3 (株) クレアスト*4 Sekisui Plant (Thailand) Co., Ltd*4 (株) ヘルシーサービス*5 セキスイオアシス（株）*6
営業利益	▲9億円	

*3 2024年度第4四半期中より新規連結

*4 2025年度第1四半期中より新規連結

*5 2025年度第1四半期中より連結除外

*6 2025年度第3四半期中より連結除外

(億円)	2024年度 1-3Q	2025年度 1-3Q	増減	
売上高	9,553	9,599	+46	為替差益 +40
売上総利益	3,104	3,112	+8	為替差益 +32
売上総利益率	32.5%	32.4%	▲0.1%	
販売費および一般管理費	2,330	2,383	+52	
営業利益	774	729	▲45	
持分法投資損益	5	5	0	
その他営業外損益	82	73	▲9	
経常利益	861	807	▲54	
特別利益	145	55	▲90	株式売却益 ▲91
特別損失	19	202	+184	
税引前利益	987	660	▲328	積水BR 減損損失 +149
法人税等	286	165	▲121	
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	16	0	
親会社株主に帰属する四半期純利益	685	478	▲207	
為替レート (期中平均)	米ドル ユーロ	153円 165円	149円 172円	

貸借対照表 -資産-

(億円)	2025年 3月末	2025年 12月末	増減	棚卸資産 (B/S科目)	2025年 12月末	増減
現金及び預金	1,426	1,099	▲327		建売住宅 (製品)	+22
売上債権	2,075	2,091	+15		造成済土地 (分譲土地)	+84
棚卸資産	3,138	3,470	+332		造成中土地 (仕掛品)	▲18
その他流動資産	392	432	+41		工事中住宅 (仕掛品)	+114
有形固定資産	4,039	4,479	+441		部材等 (原材料)	+1
無形固定資産	591	601	+9		住宅計	+204
投資有価証券	1,051	1,135	+84		非住宅計 (製品等)	+128
投資その他の資産	596	730	+134		棚卸資産計	+332
資産合計	13,308	14,037	+729			

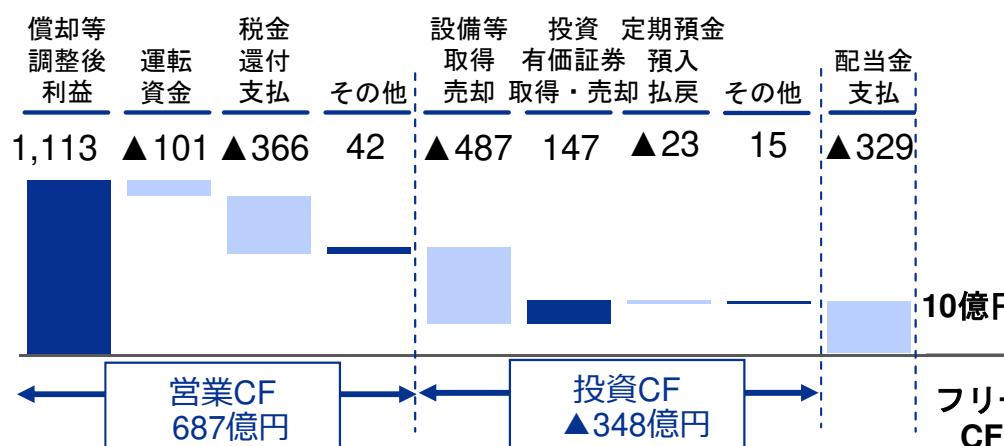
貸借対照表 -負債・純資産-

(億円)	2025年3月末	2025年12月末	増減	
無利子負債	3,846	3,831	▲14	グリーンボンド +200
有利子負債	1,108	1,657	+549	四半期純利益 +478
(ネット有利子負債)	(▲318)	(558)	(+876)	配当金支払 ▲342
負債合計	4,954	5,489	+534	自己株式消却 ▲279
資本金等	2,051	2,052	+1	
利益剰余金	5,448	5,309	▲139	
自己株式	▲501	▲482	+18	
有価証券評価差額金	369	399	+30	消却 +279 (1,400万株)
非支配株主持分	280	305	+25	取得 ▲260 (1,024万株)
その他純資産	707	966	+259	
純資産合計	8,354	8,548	+195	
負債・純資産合計	13,308	14,037	+729	為替換算調整勘定 +283
自己資本比率	60.7%	58.7%	▲1.9%	
D/Eレシオ(ネット)	▲0.04	0.07	+0.11	

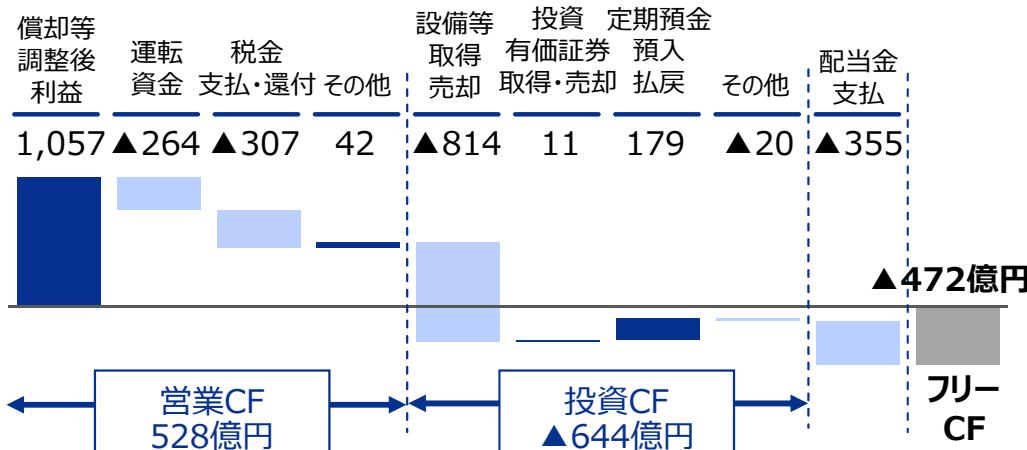
(億円)	2024年度1-3Q	2025年度1-3Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	687	528
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲348	▲644
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲547	▲118
現金及び現金同等物の増減額	▲191	▲159
フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動CF + 投資活動CF - 配当金支払	10	▲472

(億円)	2025年3月末	2025年12月末
現金及び現金同等物の期末残高	1,209	1,058

2024年度1Q-3Q フリーCF

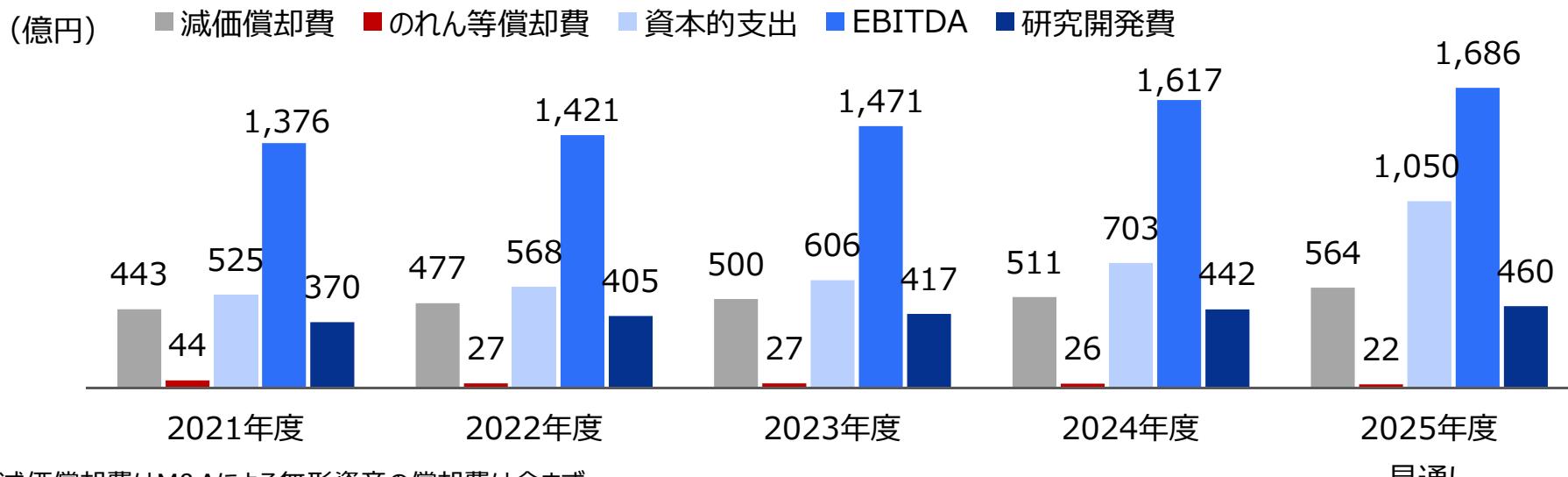


2025年度上期 フリーCF



(億円)	2024年度 1-3Q	2025年度 1-3Q	増減	2024年度	2025年度 見通し	増減
減価償却費 ^{*1}	379	412	+33	511	564	+53
のれん等償却費 ^{*2}	20	17	▲3	26	22	▲4
資本的支出	468	866	+398	703	1,050	+347
EBITDA ^{*3}	1,172	1,158	▲14	1,617	★ 1,686	+69
研究開発費	325	341	+16	442	460	+18

減価償却費・資本的支出・研究開発費推移



*1 減価償却費はM&Aによる無形資産の償却費は含まず

*2 のれん等償却費 = のれん償却費+M&Aによる無形資産の償却費

*3 EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん等償却費

スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。

* 本資料の億円表記の数値に関しては、億円未満を四捨五入で表示しています。

住宅事業の主要データ		2025年度				2024年度				2023年度	
		上期	3Q	下期見通し	通期見通し	上期	3Q	下期	通期	通期	通期
連結	売上高 (億円)	2,586	1,364	2,808	5,394	2,537	1,320	2,704	5,240	5,297	
	住宅	1,671	895	1,764	3,435	1,652	865	1,722	3,373	3,480	
	リフォーム	563	285	585	1,148	538	266	534	1,072	1,033	
	レジデンシャル	327	171	431	758	306	167	403	709	685	
	不動産	294	153	336	631	276	139	293	568	565	
	まちづくり	33	17	94	127	30	28	111	141	120	
その他	その他	26	13	28	53	41	21	44	85	99	
	1.販売棟数 (棟)	4,155	2,240	4,300	8,455	4,315	2,140	4,315	8,630	9,160	
	戸建	3,835	2,125	3,840	7,675	4,045	2,010	3,910	7,955	8,470	
	請負	3,320	1,865	3,280	6,600	3,465	1,755	3,405	6,870	7,225	
	建売	515	260	560	1,075	580	255	505	1,085	1,245	
	アパート等	320	115	460	780	270	130	405	675	690	
その他	2.主なデータ										
	単価<全国販社・戸建> (百万円)	37.9	38.8	-	-	36.4	38.0	37.7	37.0	35.2	
	坪単価<全国販社・戸建> (万円)	113.3	115.2	-	-	107.7	111.7	111.0	109.2	102.3	
	床面積<全国販社・戸建> (m ²)	110.4	111.0	-	-	111.6	112.1	112.1	111.9	113.5	
	ZEH比率	-	-	-	93%	-	-	-	95%		
	展示場数(棟)	380	370	-	375	400	-	-	388	404	
	営業人員数(人)	2,221	2,090	-	2,141	2,355	2,239	-	2,188	2,241	

各種実績データ

全社	2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高 (億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
高機能P	1,082	1,153	1,142	-	1,106	1,105	1,120	1,142	961	1,042	1,060	1,066	991	1,024	979	970
住宅	1,284	1,303	1,364	-	1,162	1,374	1,320	1,384	1,210	1,438	1,267	1,381	1,157	1,445	1,290	1,482
環境LL	519	602	605	-	525	609	608	662	513	584	598	653	501	603	592	647
メディカル	206	237	238	-	223	255	251	262	205	232	237	253	206	223	224	244

高機能P	2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高 (億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
エレクトロニクス	163	188	188	-	157	169	178	156	126	148	142	137	157	129	131	116
モビリティ	577	612	621	-	587	586	580	612	489	550	574	578	432	493	486	502
インダストリアル	259	264	254	-	266	265	268	269	243	249	241	254	267	271	252	254

エレクトロニクス分野	2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高 (億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
液晶向け	51	51	56	-	48	51	53	51	47	49	48	45	58	37	41	42
非液晶向け	112	137	132	-	109	117	125	105	79	98	95	93	99	92	90	73
非液晶比率 (%)	69%	73%	70%	-	70%	69%	70%	67%	62%	68%	66%	67%	63%	71%	69%	63%

モビリティ分野	2025年度				2024年度				2023年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
N-HPP膜 販売量 対前年伸長率 (%)	112%	113%	104%	-	112%	100%	95%	108%	98%	102%	107%	103%	98%	119%	102%	98%

*24年度より N-HPP中間膜。23年度以前は区分変更前の高機能中間膜の実績

各種実績データ

インダストリアル分野	2025年度				2024年度				2023年度				2022年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q													
■売上高 (億円)																	
省力化製品	64	66	61	-	59	59	59	70	49	52	48	56	60	56	48	53	
環境対応製品	18	21	23	-	19	19	22	22	17	21	20	22	19	19	21	21	

住宅	2025年度				2024年度				2023年度				2022年度				
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
■営業利益 (億円)																	
住宅	88	-	79	90	67	79	95	112									
リフォーム	57	-	50	49	40	42	36	43									
レジデンシャル*	17	-	16	31	22	26	17	27									

*25年度よりレジデンシャル。24年度以前は区分変更前のその他（海外・住生活を含む）実績

環境LL	2025年度				2024年度				2023年度				2022年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
■売上高 (億円)																	
パイプ・システムズ	256	287	280	-	268	310	301	302	253	296	301	291	257	298	295	286	
住・インフラ複合材	185	206	218	-	182	206	213	199	184	200	205	197	173	208	209	204	
インフラリニューアル	63	88	92	-	59	74	71	135	55	70	72	140	50	69	59	127	

環境LL	2025年度				2024年度				2023年度				2022年度				
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
■売上高 (億円)																	
重点拡大製品（国内）	261	-	226	271	195	265	190	243									
海外	170	-	202	201	195	199	222	195									

メディカル	2025年度				2024年度				2023年度				2022年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
■売上高 (億円)																	
検査国内	73	83	89	-	76	84	87	79	76	80	87	80	78	73	81	77	
検査海外	91	102	101	-	112	118	119	127	94	100	112	120	89	104	106	112	
医療	42	52	48	-	35	54	44	56	36	52	38	53	39	45	37	55	

SEKISUI